

平成 27 年度第 6 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「祝ラムサール条約登録！！涸沼の水生生物を学ぼう」を実施しました。

開催日時：平成 27 年 7 月 25 日（土） 9 時 30 分から 15 時 50 分まで

開催場所：東茨城郡茨城町中石崎 涸沼自然公園および涸沼湖岸

参加者：31名

今回は今年 6 月にラムサール条約登録湿地に選ばれた涸沼を観察地に、水生生物の観察やハゼ釣りなど、涸沼の魅力あふれる自然や風景を楽しく学習しました。汽水湖の涸沼と同じ海跡湖でありながら、現在は淡水の湖である霞ヶ浦との比較によって、互いの湖の特徴も知ることができました。

今回の講師は、茨城県環境アドバイザーで、（一社）茨城県環境管理協会の川島省二先生にお願いしました。わかりやすい説明をして頂き参加者に大好評でした。

午前中は涸沼自然公園内を流れる若宮川で、水生生物の採取と観察を行いました。約 30 分と短い間でしたが、魚類 10 種、甲殻類 4 種、水生昆虫数種が採集され、若宮川の生き物の多さに参加者のみなさんからは驚きの声が上がりました。

昼食休憩を挟んで、午後は水質検査から始めました。参加者自らパックテストを使い、若宮川と涸沼の COD を測定しました。川島先生から、パックテストの結果とそこに見られる生き物との関係から、水質の指標となる生物についてわかりやすく教えて頂きました。

そのあとは涸沼湖岸に場所を移し、川島先生の指導のもと、ハゼ釣りに挑戦しました。目の前に広がる涸沼の美しい風景に心が躍りました。釣果のほうは全員がマハゼを釣る、とはいかなかったものの、大人の参加者も釣りは久しぶりという方が多く、年齢問わず、みなさん童心に返って楽しんでいる姿が印象的でした。参加者全員の釣果を合わせると、マハゼ、ヌマチチブ、シマハゼ、クロダイの 4 種類の魚が見られました。

酷暑の中での観察会でしたが、無事に観察会を実施することができました。また、今回は川島先生の分かりやすい解説で涸沼の魅力をたくさん学ぶことができました。

講師の川島先生、資料を御準備いただいた腰塚さんと中村さん、運営に御協力頂いたパートナーのみなさん、そして参加者のみなさん、大変ありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

観察会の様子と観察した生き物の一部を御紹介します。



講師の川島先生





採集開始！



ウナギです！



何が採れたかな？



川島先生による生き物解説



水質検査の様です。
観察した主な生き物を紹介します。

【若宮川】

ウグイ、モツゴ、メダカ、ギンブナ、タモロコ、ウキゴリ、
ヌマチチブ、ヨシノボリ、ドジョウ、ウナギ、アメリカザリガニ、
ヌマエビ、スジエビ、モクズガニ、マツモムシ、コオイムシ、ヤゴ

【涸沼（釣り）】

マハゼ、シマハゼ、ヌマチチブ、クロダイ



涸沼といえば、マハゼ釣り。

